

再々評価調書

事業名	淀川水系 尺治川 通常砂防事業				
担当部署	都市整備部河川室ダム砂防課 砂防グループ(連絡先 06-6944-9302)				
事業箇所	交野市 私市				
再々評価理由	再評価後5年を経過した時点で継続中				
事業概要	目的	本溪流は、土砂災害から、府民の生命・財産を守るため、自然的要件(地形、荒廃)社会的要件(避難所・避難路、災害時要援護者施設・被害の影響の大きい)をもとに重点化の評価を行った結果、優先的に整備すべき箇所となっているため、人家等に直接的に土砂災害を及ぼす恐れのある溪流について、砂防えん堤の整備完了後、溪流保全工を行い土石流等の土砂災害に備える。			
	内容	溪流保全工 護岸工 L=980m			
	事業費	全体事業費:約18.2億円(約18.2億円) うち投資済事業費:約16.8億円(13.9億円) (内訳)調査費約0.9億円(約0.9億円) (内訳)調査費約0.8億円(0.6億円) 用地費約9.9億円(約11.6億円) 用地費約9.9億円(8.9億円) 工事費約7.4億円(約5.7億円) 工事費約6.1億円(4.4億円)			
	( )内の数値は再評価時点のもの	【事業費の変動理由】 ・用地取得に伴う用地・補償費の確定。 ・掘削地盤において、想定した地盤より軟弱であったため仮設工追加に伴う工事費増	【工事費の内訳】 ・護岸工 約7.4億円(約5.7億円)		
	事業費の変動要因	【再評価時に予測した事業費変動要因の状況】 ・再評価時に予測していた用地・補償費の地価の変動。 ・再評価時に予測していた掘削地盤において、想定した地盤より軟弱であったため仮設工追加に伴う工事費増 【計画変更の予定】なし			
	維持管理費	-			
	上位計画	大阪府都市基盤整備中期計画(案)改定版(平成17年3月策定)			
関連事業	なし				
事業の進捗状況	経過	計画時の想定	再評価時(H16)	再々評価時(H21)	分析
	事業採択年度	H2	H2	H2	用地交渉等の影響による遅れ
	事業着手年度	H2	H2	H2	
	完成予定年度	H5	H20	H22	
	進捗状況		用地: 77% <9018m2/11670m2> 工事: 76% 護岸工 547m 整備済	用地: 100% <11670m2/11670m2> 工事: 82% 護岸工 750m 整備済	
今後の事業進捗の見通し	用地取得が100%完了し、地元協力も得られることから、予算確保に努め、早期に事業効果を発揮できるよう工事の進捗を図る。				

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	再評価時点	再々評価時点	分析
		災害発生の危険度 流域の地質は脆弱な風化花崗岩で形成され、溪岸侵食が著しく、溪床には不安定土砂及び転石が堆積しており、出水時には下流人家及び公共施設への被害が及ぶ危険性がある。	同左	同左	諸状況に変化なし
地元の協力体制		保全対象 人家戸数 28戸 小学校 1箇所	保全対象 同左	保全対象 同左	
		地元からの強い要望があり、全面的に事業に協力していただいている。	同左	同左	地元の協力体制に変化なし

	事前評価時点での状況		再評価時点での状況	再々評価時点での状況(変更点)	分析
		備考			
事業効果の分析	費用便益分析	計画時点では費用便益の分析手法が確立されておらず、算出していない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B / C = 1.50</li> <li>便益総額</li> <li>B = 26.8 億円</li> <li>総費用</li> <li>C = 17.8 億円</li> </ul> 算出根拠 国土交通省河川部砂防部(H12) 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B / C = 1.63</li> <li>便益総額</li> <li>B = 28.8 億円</li> <li>総費用</li> <li>C = 17.6 億円</li> </ul> 現時点の便益内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人命保護効果(人命損失軽減) : 10.0 億円</li> <li>・ 家屋被害軽減効果 : 5.7 億円</li> <li>・ 公共・公益施設被害軽減効果 : 13.1 億円</li> </ul> 算出根拠 国土交通省河川部砂防部(H12) 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル」	便益額 現地価値化による完成以降の便益の増 総費用 各年度の事業費の配分による減
	その他の指標(代替指標)				
	定性的分析	<安全・安心> 土砂災害による被害の軽減が図れる <活力> <快適性> 溪流沿いの管理用通路を散策道として利用できる。 <その他>		変更なし	変更なし
自然環境等への影響と対策	周辺の自然環境に配慮し、できる限り自然石を用いた護岸を採用。		変更なし	変更なし	自然石等により、引き続き周辺の自然環境に整合した整備となっている。
その他特記すべき事項	府内の土砂災害危険箇所は 4,361 箇所あり、そのうち土石流危険溪流 1,009 溪流、急傾斜地崩壊危険箇所 683 箇所、地すべり危険箇所 145 箇所を優先的に整備する箇所に位置づけられており、本事業箇所はそのうちの 1 つ。			本事業によるハード対策に加え、以下の住民への啓発活動等のソフト対策を充実している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交野市の土砂災害のおそれのある区域について、危険周知、警戒避難体制の整備、立地抑制を行うため、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域を指定します。</li> <li>・ 交野市のハザードマップを平成 18 年 3 月に作成。</li> <li>・ 平成 18 年 9 月から運用を開始した土砂災害警戒情報の発表や、おおさか防災ネット上に「土砂災害の防災情報」で平成 19 年 6 月から配信。また平成 20 年 11 月から携帯メール配信サービスを開始。</li> <li>・ 現在の整備率は土石流危険溪流 33%、急傾斜地崩壊危険箇所 23%、地すべり危険箇所 9%。</li> </ul>	
前回評価時の意見具申・府の対応方針の概要			【意見具申】本事業については、審議の結果、必要性が認められ、かつ、事業進捗上も特段の支障がないと考えられるため、「事業実施は妥当」と判断する。 なお、計画的に事業進捗していることから投資効果の面からも事業を早期に完成させることを要望する。 【府の対応方針】『事業継続』とする。	(前回評価に対する具体的な取組み) 早期に事業効果を発揮できるよう工事の進捗を図る。	

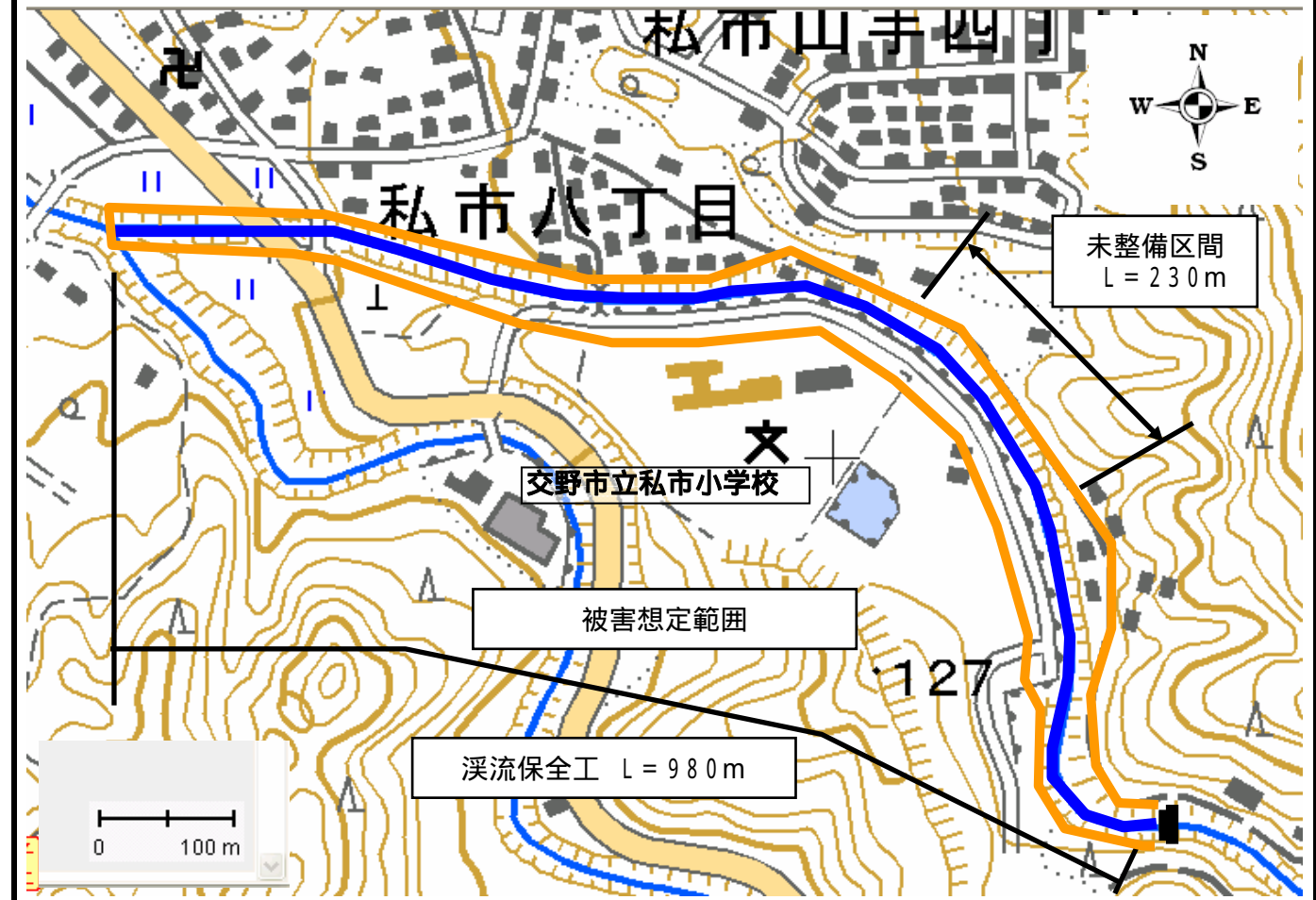
事業箇所図



尺治川砂防事業箇所  
(交野市)



平面図



標準断面図

